

# 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果【本巢市】

## 1 調査について

実施日 令和5年4月18日（火）（中学校英語「話すこと」は市内4校とも別日に実施）

対象 小学校6年生・中学校3年生

内容 (1) 教科に関する調査 小学校：国語、算数 / 中学校：国語、数学、英語  
(2) 質問紙調査（学習や生活等に関して）

目的 全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析する  
→教育の成果と課題を検証して改善を図る。

学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。



## 2 本巢市全体の結果

### (1) 教科に関する調査

小学校	○よくできていた点	△課題点
国語	・根拠を用いて述べたり、条件に合わせて自分の考えや意見を書いたりすること。	・複数の情報を正しく結びつけることや、情報同士の関連付けの仕方等情報の扱い方。
算数	・多様な見方で物事を観察し、事象の説明をすること。	・図形の意味や性質を正確に理解すること。また、正しく説明すること。

中学校	○よくできていた点	△課題点
国語	・情報を比較したり、整理したりしながら自分の経験と結びつけて文章を読むこと。	・古文や古語を中心とした伝統文化に関する知識の理解と定着。
数学	・複数の比較して物事を捉えたり、意味を理解して説明したりすること。	・目的に応じて式を変形し、その意味を理解して、事柄が成り立つ理由を説明すること。
英語	・日常的・社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことの要点を捉えること。	・正確に読み取り、聞き取ること。自分の考えやその理由を書いたり話したりすること。

### (2) 質問紙調査（みえたよさと課題）

#### ①よさや高まりが見られたこと

- ・自己有用感の高まりが見られた。また、引き続き規範意識が高く、学習への意欲も高い。
- ・中学校では特に「幸福感」を感じている生徒が多い。

#### ②課題や懸念されること

- ・小学校での「幸福感」が低い。そう感じている要因や中学校との差についても探る必要がある。
- ・教科の学びにおいて「分かる」のに、「好き」「楽しい」と感じていない児童生徒がまだ多くいる。

### (3) 今後の指導の重点

◎児童生徒が主体的に「学習したい」という思いがもてる授業の工夫

- ・ねらいに即した授業展開（知識の獲得⇔活用の時間の比重等）
- ・児童生徒の「学びたいこと」と先生が「教えたいこと」を近づける
- ・ICTを効果的に活用し、苦手を補ったり交流を広げたりする。

◎児童生徒一人一人の実態や思いを捉え、成長を実感できる活動へ

- ・児童生徒が自身で選択し、自己決定する場面を大切にする。
- ・言動に隠れた思いや願いを、聞いたり考慮したりした上での声かけや支援

